

## 1. 産学官連携推進室が設置されました。

5月14日付で、産学官連携推進室が設置されました。推進室は産学官連携に関し、次の業務を行うことを目的としています（推進室設置要綱第2項）。

- 1) 産学官連携制度及び推進のための企画・調査
- 2) 産学官連携に関する学内外の窓口
- 3) 産学官連携に関する情報の収集及び提供
- 4) リエゾン活動
- 5) 奈良県テクノサポーターズに関する業務
- 6) その他産学官連携に関し必要な事項

## 2. 産学官連携コーディネーターを配置しました。

平成15年度「地域貢献特別支援事業」の一環として、平成15年9月1日より、藤野千代氏が「産学官連携コーディネーター」に着任しました。同コーディネーターは、大学の研究成果の調査・発掘、研究成果を基にした大学と企業との共同研究のコーディネートを中心に活動します。

**藤野千代：**  
勤務場所 国際・研究協力室 通路側席  
勤務日時 月・火・木 9:00 - 15:00  
金 9:00 - 12:00  
1964生  
奈良女子大学 理学士(1987)  
奈良女子大学 論博士(1998)  
<略歴>  
三菱電機 材料研究所(1987)  
<専門>  
磁気工学・物性、シミュレーション  
技術(電磁気、構造、熱)



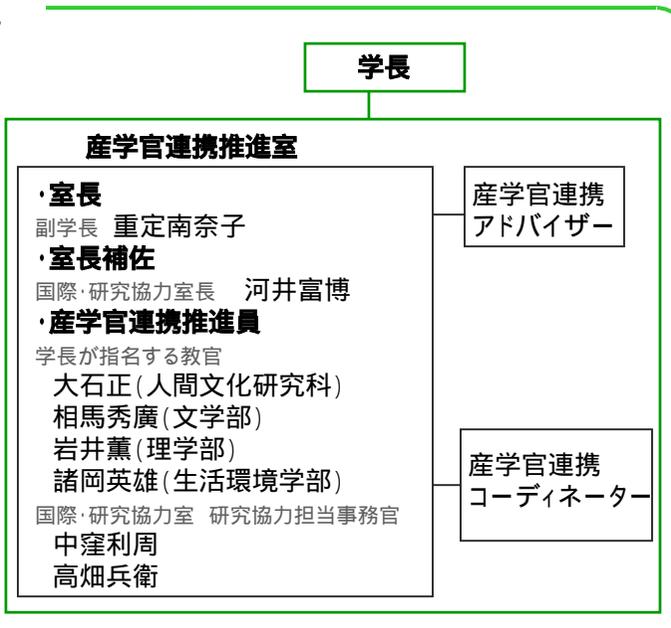
大学の研究成果を、と、本学自身の活性化に結び付けられるように尽力いたします。  
第一歩として、本学の研究内容を産業界の視点にたつて冊子にまとめます。ご協力お願いいたします（研究室個別訪問させていただき予定です）。

## 3. 2003 中小企業ビジネスフェア in KANSAI にブース出展しました。

9月10-12日 インテックス大阪で開かれました経済産業省・近畿経済産業局主催のビジネスフェアに出展しました。出展内容は、各学部毎の研究テーマをキーワードとしたパネルの他、大石教授、保助教授、岩井助教授、小城教授、植野教授の研究紹介パネルを展示しました。またスライドショーで本学の実験設備写真を紹介し、シーズ集などを配布しました。本学ブースには約300名の方が立ち寄り、名刺をいただいた約250名の方に後日、アンケートを郵送させていただき次のような意見をいただいております。

ビジュアルの工夫が欲しい（アイキャッチ）。役所調の文章が多く、偉そうに感じた。なぜ奈良女子大学でないとダメなのかという貴学の売り込みが足りなかったように思われます。シーズの応用例をあげればもっと理解しやすくなると思われます。シーズ紹介だけでなく、このシーズはどのようなものに活用が期待できるのかといったことを紹介して欲しい。特許など（知財化の状態）が判るようにしてほしい。等。。

本学以外の参加学校は、奈良工業高等専門学校、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学、龍谷大学、成安造形大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、同志社大学、関西学院大学研究推進機構、関西大学、近畿大学大学院総合理工学研究科、大阪産業大学、京都産業大学でした。  
<岩井・中窪・高畑・藤野・河井>





本学出展パネル

他大学  
ブース

#### 4. 「さあ見学！産研学」やまとの地場産業見学交流会に参加しました。

7月29日に奈良県中小企業センター主催の地場産業見学会が、県内企業三社（成型メーカー三笠産業、繊維関連からIT企業への脱皮を図るシバタ製針、生産コストを大幅に引き下げる新生産方式を導入した岡本）で開かれました。本学以外では奈良産業大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良教育大学、奈良工業高等専門学校などから約30名が企業の生産現場や商品開発について理解を深め、連携の可能性を探りました。  
 < 諸岡 >

#### 5. 「さあ見学！産研学」やまとのハイテク産業見学交流会に参加しました。

8月28日に奈良県中小企業センター主催のハイテク産業見学会が、県内企業三社（特殊工具メーカーの野村工具製作所、食品加工機械製造などの品川製作所、精密塗工機などのヒラノテクシード）で開かれました。本学以外では奈良大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良工業高等専門学校などから約30名が生産の効率化や商品開発について理解を深め、連携の可能性を探りました。  
 < 大石・戸祭 >

#### 6. 第1回「元気城下町クラブ」に参加しました。

8月29日に大和郡山市商工観光課主催の「元気城下町クラブ」が大和郡山市 松下電器産業(株) 松下ホームアプライアンス社にて開かれました。肩書き抜きで大和郡山市を元気にしようとする意欲に燃えた人が集まる場として設定されており、人脈作りには有効な場でした。  
 < 河井・高畑・宮前・戸祭 >

#### 7. 異業種交流サミット2003に出席しました。

9月19日に奈良ロイヤルホテルに於いて奈良県異業種交流促進協議会主催の「奈良県異業種交流サミット2003」に出席しました。産・研・学連携による共同研究事例紹介（金型内一体成形による複合射出製品の高度化に関する研究開発・県産スギ材の需要拡大に向けて・異分野間の共同研究事例～永久磁石の応用～）に続き、「異業種グループの産研学連携の強化に向けて」というテーマでパネルディスカッションが行われ大石教授がパネリストとして登壇いたしました。本学以外では帝塚山大学、奈良県立大学、奈良工業高等専門学校、龍谷大学の参加がありました。  
 < 大石・相馬・中窪・藤野 >

## 8. 平成15年度第2回大学連携推進実務者会議に出席しました。

9月29日、国民会館（大阪市中央区大手前）にて開催されました「平成15年度第2回大学連携推進実務者会議」に出席しました。近畿経済産業局産学官連携推進室長の松本敏明氏の開会挨拶のあと、以下の2件の特別講演がありました。

### 1) 「平成16年度文部科学省産学官連携関連予算の概要」(文部科学省研究振興局環境・産業連携課課長補佐 金子忠利氏)

平成16年度の概算要求は、技術創造立国の実現を目指した科学技術基本計画(平成13年3月30日閣議決定)に基づき、重点4分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)を更に推進させるために前年度比120%の増額要求を行うものです。新規・拡充主要施策としては、

先端計測分析技術・機器開発の開始(平成16年3月頃にも公募開始予定) 大学等の研究成果の特許化推進(年間2000件程度の海外出願特許を支援) 大学初ベンチャー創出・育成制度の拡充 大学知的財産関連体制の整備(認定済みの大学知的財産本部の整備) 産学官共同研究の効果的な推進 人材育成です。

### 2) 「平成16年度経済産業省産学官連携関連予算の概要」(経済産業省産業技術環境局大学連携推進課企画一係長 藤井亮輔氏)

大学発ベンチャー1000社計画が平成16年度終了であることから、前年比200%の増額要求(専門家によるハンズオン支援、マッチングファンド事業として研究終了後2年以内に事業化することをTLOに保障させ研究補助費用を1件、1年500万円以上を補助)。また外部TLO(技術移転機関)と内部TLOの説明などもありました。ただし、これは参加者より質問もありましたが、周辺特許取得の甘さから必ずしも特許収益があがらないなど、まだ運営軌道にのらない問題もあるようです。

さらに、主催者の近畿経済産業局からの連絡事項として、以下2点がありました。

#### 1) 大学への個別訪問実績報告

平成14年度11大学 平成15年度8大学(本学は今年度中開催予定。現在日程調整中)

#### 2) 若手研究者への積極的支援について

意見交換会実績(平成15年度12大学:本学は今年度中に開催予定。現在日程調整中)報告。この若手研究者との意見交換会に出席された先生方の技術シーズ集を作成し、近畿管内に研究開発拠点を置く主要大企業を個別PR訪問開始。企業ニーズの大学側配布も検討。

<岩井・中窪・藤野>

## 9. 今後の予定

10月6日「第2回産学連携のための経営者セミナー」主催:奈良県大学連合

10月9日「第2回さあ見学!産研学」奈良県森林技術センター見学交流会 主催:奈良県中小企業支援センター・奈良県

10月31日「第2回なら学研技術交流会」~奈良女子大学見学交流会~ 主催:奈良県商工労働部 産業科学振興室

本学に保健環境研究センター・薬事研究センター(当日は全国薬事指導協議会が開催されるためご欠席)、工業技術センター、農業技術センター、畜産技術センター、森林技術センターの方をお迎えし、本学の研究紹介を行います。研究室を公開していただける先生方は是非、連携推進室(国際・研究協力室)までご連絡ください。

11月4日「さあ見学!産研学」やまとの成長産業見学交流会 主催:奈良県中小企業支援センター

11月12日「知的財産権セミナー(大学セミナー) 主催:発明協会大阪支部

本学の教官を対象に特許セミナーを実施します。テーマは「法人化後の職務発明についての権利帰属(仮題)」です。

平成16年

1月27・28日「元気企業ビジネスフェア Nanto」出展 主催:南都銀行元気企業サポート室